

# メタバースを活用した 多様性包摂の可能性を探る

- 引きこもり対策の事例から -

2022年3月30日 (水) 18:30-20:00

## 概要

現在、日本では100万人以上が「ひきこもり」状態にあると言われています。地域若者サポートステーションをはじめ彼ら・彼女らが一歩踏み出すための取り組みが様々に行われていますが、原則として対面で行われる取り組みが多いことから、全員へ十分な支援が行き渡っている状態にはありません。

一方で、COVID-19の感染拡大をきっかけとしたリモートワークの普及や、多くの企業での副業解禁など、DXによって労働形態が変革しつつあります。現在注目を集めているメタバースを通じたアバターワークもその一つです。

今回のセミナーでは、メタバースを用いることで社会的孤立への支援の可能性を、メタバース上での相談やジョブトレーニングを通じたサポートが始まる福岡市の事例から議論します。ひきこもりに限らず、ひいては様々な多様性を包摂する「誰も取り残さない (NLB: No one Left Behind)」社会をいかに実現できるのか、参加者からのコメントもお待ちしております。

ご参加申込みは[こちらから](#)  
※[下線部をクリックしてください](#)



日本語、英語 (同時通訳あり)



参加費-無料(要事前登録)



## 林 裕子

現在、山口大学大学院技術経営研究科教授（特命）、株式会社CRファーマの社外取締役、日本学術会議連携会員。東京大学で学士号を取得した後、マサチューセッツ工科大学（MIT）のTechnology and Policy Programで理学修士を取得。2006年10月に東京大学大学院先端学際工学で博士（学術）を取得。研究対象は、技術経営学に基づく科学者と政策立案者の間の媒介機能の仲介に焦点を当てた科学技術分野での政策立案、先端医療技術におけるイノベーションの促進、応用技術による社会問題の解決のためのイノベーション等。現在、日本MOT（技術管理）学会副会長、知的障害者を支援するスペシャルオリンピック日本理事、東日本大震災の孤児遺児を支援する3.11震災孤児遺児文化スポーツ支援機構の理事等を務める。



## 加藤隆弘

九州大学医学研究院 精神病態医学 准教授。精神科医・医学博士・精神分析家。2000年九州大学医学部卒業。2008年日本学術振興会特別研究員、2011年米国ジョンスホプキンス大学留学、2013年九州大学レドックスナビ研究拠点特任准教授（脳研究ユニット長）、2017年九州大学病院精神科神経科講師を経て、現職。多様化するうつ病やひきこもりの治療法開発のための専門外来、及び、脳と心の橋渡し研究ラボ（九大精神科分子細胞研究室）を主宰。メンタルヘルス・ファーストエイド・ジャパン創設メンバー。



## 三淵 啓自

1961年東京生まれ。スタンフォード大学コンピューター数学科修士卒業後、米国オムロン社にて人工知能や画像認識の研究に携わる。退社後、米国でベンチャー企業を設立。その後日本で、日本ウェブコンセプト、米国で3U.com社を設立。ユビキタス情報処理や画像認識システムなど、最先端のWebシステムの開発を手がけている。デジタルハリウッド大学院専任教授、メタバース協会常任理事、先端IT活用推進コンソーシアム顧問。



## ジェラルド・羽根

日立アジア社 シニアエグゼクティブ、GRIPS客員研究員。バテル記念研究所と三菱商事の合併会社であるバテル・ジャパンの社長など、10年以上にわたりアジアにおけるイノベーション、事業化に従事。クリントン政権下では科学技術政策局の国際戦略部長を務めたほか、国際戦略・問題担当部長、下院科学・宇宙・技術委員会の専門スタッフ等を歴任。ハーバード大学でイノベーション政策を中心とした政治経済学の博士号、スタンフォード大学で機械工学の学士号と修士号を取得。



## 飯塚 倫子

政策研究大学院大学教授。英国ロンドン大学インペリアルカレッジ環境管理ディプロマ（Post graduate diploma）、英国サセックス大学開発学研究所（IDS）開発学修士号（MPhil）、同大学科学政策研究所（SPRU）科学技術政策博士号（DPhil）。財団法人国際開発センター調査部研究員（1993-96、2000-03）、国連ラテンアメリカ・カリブ経済環境委員会（チリ：UNECLAC）環境政策官（1997-2000）、国連大学マーストリヒト技術革新・経済社会研究所（オランダ：UNU-MERIT）研究員（2008-18）などを歴任。現在、サセックス大学科学政策研究ユニット（SPRU）アソシエイト・フェロー、国連大学マーストリヒト技術革新・経済社会研究所（UNU-MERIT）アフィリエイト・フェローを兼任。専門は、発展途上国や新興国における持続可能な開発、天然資源、農業分野における開発および科学技術イノベーション政策。

## DII セミナーとは

主催：政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策プログラム

破壊的・インクルーシブ・イノベーションセミナー（DIIセミナー）とは民間、公的機関、学界、NGO等がSDGs達成のためのイノベーションのあり方について、新しいアイデアや見解を自由に意見交換できる空間となることを目指しています。DIIを実現するために、これまでそれぞれに活動を行ってきた、科学技術分野と途上国開発分野の起業家、企業、国際機関、アカデミアなどが相互に意見交換し、アイデアやそれぞれが持つポテンシャルについて意見交換する空間があればと考えました。このセミナーシリーズが、様々な関係者の方にとって、イノベティブなアイデア、コラボレーション、パートナーシップのための土台となり、新しいイノベーションのあり方を加速する政策アジェンダの設定に繋がればと考えております。